

茅ヶ崎同盟教会 教会学校だより

2006年度年間暗誦聖句 (こどもさんびか 1番)

あいするものたちよ。わたしたちは、たがいにあいしあおうではないか。
あいは、かみから出たものなのである。すべてあいするものは、かみから
生れたものであって、かみを知っている、あいさないものは、かみを知ら
ない。かみはあいである。(口語訳)

ヨハネの第一の手紙 4章7～8節

2006年11月19日は収穫感謝の日礼拝です。毎年、教会学校では朝8時から朝食会を行っています。アメリカ合衆国では11月の第4木曜日はサンクスギビング・デイの祭日で、グレービーソースたっぷりの七面鳥とパンプキンパイが定番のごちそうです。茅ヶ崎同盟教会・教会学校のメニューは特製の豚汁と自分たちで作るおにぎりです。当日、いつもより早起きして集まったお友だちは、味もかたちもさまざまなおにぎりをおいしそうに食べていました。今回は小学科担当の安田雄子先生のレポートです。



2006年収穫感謝の日・朝食会レポート



11月19日、朝一番で例年どおり麗子先生がお米を量り、といで下さり、炊飯器のスイッチ・オンでごはんのセット完了(毎年感謝です)。そしていつもよりさらに30分早く校長先生到着(まだ7時、感謝です)。7時半、お鍋や野菜をもった教師たちが集まります。サンルームのキッチンの大鍋にそれぞれの豚汁を移して火にかけます。そこへお味噌、中の具は黒いも、にんじん、大根、ごぼう、豚肉、きのこ・・・どれも神さまからの恵みです。

8時、礼拝堂で、校長先生から収穫感謝の日の由来について伺いました。サンクスギビング・デイ、その日は七面鳥の





ローストを感謝して頂くのだそうですが、私たちはその昔から「豚汁とおにぎり」が定番です。礼拝堂の前には、子どもたちが1つずつ家庭から持ち寄った果物がカゴに盛られました。これも1つひとつ、神さまからのうれしい恵みです。そろそろサンルームから豚汁の香りがしてきます。

お祈りのあと、豚汁とセルフおにぎりを頂きました。今年のおにぎりは特別で、焼き鮭や、あさりのしぐれ煮、梅としその葉など、本当に美味しいものばかり！豚汁はもちろん美味しかったです。

1週間前のCS礼拝で、私たちは出エジプト記16章から、神さまは私たちに必要なものを与え、そして養って下さることを学びました。この日だけでなく、毎日毎日、神さまから頂いている沢山の恵みをひとつずつ感謝していない自分にも気付かされ、改めて反省しました。また、この日初めて教会に来てくれた高校生が、続けて通ってくれるように祈っていきたいと思います。

礼拝の後、再びお楽しみがあって、みんなの持ち寄った果物で、フルーツポンチを作って、また賑やかに美味しく頂きました。心まで暖まる収穫感謝の朝でした。はじめから終わりまで、神さまの導きとお守りがありましたこと、本当に感謝しました。お祈り、ご協力ありがとうございました。(安田雄子 記)

編集後記 (Nov.30th,2006 Updated)



教会学校だより、今回は大変にぎやかに行われた収穫感謝の日・朝食会のレポートをご紹介します。いよいよ12月です。待ちに待ったクリスマスの季節です。今年度のクリスマス祝会は12月17日に行われます。そして、礼拝後の分級ではページェントの練習を始めました。幼稚科から成人科まで、毎週日曜日の9時から皆さまのご参加をお待ちしております。今回もおまけ画像として次ページに、11月26日に行われた創立47年記念礼拝の後に撮影した集合写真を掲載しました。(森本)



Nov.26th 2006 創立47周年記念礼拝にて

